

研修会報告

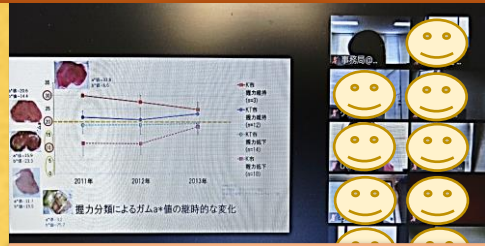
2020年10月24日（土） 14時～16時 オンライン開催
 栄養研修Part.1 「多職種で理解を深める在宅療養での栄養」

武庫川女子大学 食物栄養科学部 食物栄養学科 教授/一般社団法人 日本在宅栄養管理学会 理事長/管理栄養士/保健衛生学博士の**前田 佳予子**氏、城陽江尻病院 管理栄養士の**馳 優香**氏を講師としてお迎えし、オンライン（ZOOM）で栄養研修会を開催しました。47名の多職種の方々にご参加いただきました。

「多職種で考える在宅療養と栄養」

まへだ かよこ
前田 佳予子 氏

日本の現状と地域包括ケアシステムについてご説明いただいた上で、多職種連携による在宅療養、退院支援の重要性と、その中での栄養士の役割についてお話しいただきました。在宅療養される方々の約8割が低栄養というデータから、高齢者フレイルへの関わり的重要性、具体的な対策についてもお話しいただきました。



パソコンの場合はこのような感じで資料を見ながら講演が聞けます

参加者感想（一部抜粋）

- 咀嚼と嚥下、咬合力と握力低下は患者さんに接する際に話していきたい。
- 食形態統一シートの見方が分かったので、食形態の検討に用いることが出来ると思います。
- 退院支援において、退院後の医療・介護サービスの利用状況や近隣のスーパーなど食に関するアクセスの状況、経済状況を把握や、多職種間で情報共有を行うことで、より具体的な栄養サポートや栄養指導につなげていきたいと思います。

「姫路市食形態統一シートについて」

はせ ゆうこ
馳 優香 氏

まずは食事形態の基礎知識についてご説明いただきました。そして、姫路市栄養管理研修会が作成した「姫路市食形態統一シート」について、具体的な事例をふまえながら分かりやすく活用方法を解説していただきました。病態、咀嚼、嚥下によって形態を考えていく必要があることをシートを見ながら学ぶことができました。



姫路市のホームページよりダウンロードできます。

**姫路市
 食形態統一シート**

